

小笠原次代にエール



盛岡市の盛岡南運動公園球場が熱気に包まれた。小学1～6年の選手たちはトップ選手と同じヒッチに立ち大喜び。大勢の保護者がカメラを手にスタンドで応援した。

小笠原選手のシュートに、参加児童らはゴール前でDFの壁をつくって対抗した。

小中学生に実践指導 「岩手のために」恩返し

現役トップ選手が岩手の子に夢を与えた。サッカー元日本代表MFの小笠原満男選手(鹿島アントラーズ・盛岡・大宮中一大給渡高出)が5月末、小中学生チーム「レノウエンスオガサFC」の総合アドバイザーとして初の実践指導。「岩手のために自分にできることがある。あこがれを感じてもらえる選手でありたい」と古里への恩返しを強調した。

盛岡・オガサFC練習会



小笠原がフリーキックを披露。プロの技術に「すげー」と子どもたちは大喜びした。盛岡市・盛岡南公園球場



練習終了後は小笠原選手と一緒に記念撮影。あこがれのプロ選手の隣に見とれて見とれてしまっ子どもたち

で応援した。小笠原選手も公式戦では見せない和やかな表情。子どもたちを引き連れてドリブルしたり、ゴール前にパスを出してミニゲームを盛り上げた。

MF錦尚斗君(盛岡・仁王小6年)は「来てくれてびっくりした。同じボラン手なの

で視野の広さを学ばれた選手が(小笠原選手を見習って)ディフェンスを頑張るようになった」と語る。ボランチのポジションに興味を持つ選手も増えたという。

将来プロを夢みる選手たちにとって小笠原選手との交流は大きな励みだ。中村代表は

「守備の意識が低かった選手が(小笠原選手を見習って)ディフェンスを頑張るようになった」と語る。ボランチのポジションに興味を持つ選手も増えたという。

小笠原選手は「自分も子どものころを思い出しながら楽しむことができた。林(勇介)・浦和)や山本(脩斗)・磐田)のような岩手出身のプロ選手が育ってくればうれしいです」と期待を込めた。